

“ひろしま活力農業” 経営者育成研修 令和5年度 研修生募集

農業という選択

25年の実績

就農者数 49名

農地確保済み



● “ひろしま活力農業” 経営者育成研修のご紹介

平成9年度からスタートした“ひろしま活力農業”経営者育成研修は、コマツナなどの葉物野菜の周年栽培により着実に新規就農できる研修事業として実績を上げており、現在、49人の研修修了生が広島市内と安芸太田町内で農業経営者として活躍しています。

成功のポイントは、技術指導や就農地・就農施設の確保等の支援を「新規就農パッケージ」として、公益財団法人広島市農林水産振興センター（以下「センター」という。）が市町や農業委員会、JAなどの関係機関と連携して取り組む体制を整えていることで、これにより研修生は研修修了後、速やかに経営開始することができます。

また、研修費用は資格取得等の費用や実地研修での農機具費・雇用労賃等を除き無料としており、さらに研修期間中の資金の交付などの「支援制度」も整っていますので、安心して研修に専念することができます。

● 新規就農パッケージについて

新規就農パッケージの内容は、以下の3項目で広島市や農業委員会、JAなどの関係機関と連携して取り組むことで研修生の円滑な就農と就農後の経営の安定を支援します。

1 技術指導等

(1) 技術研修

専属の職員が栽培技術を基礎から応用までマンツーマンで丁寧に指導するほか、各種専門家により労務管理や農業簿記など経営管理に関する知識の習得を支援します。

未経験者でも、1年後には農業経営者として必要となるスキルを身に付けることができます。

(2) 研修品目

新鮮・安心な“ひろしまそだち”産品（地場野菜）として取引されているコマツナやホウレンソウなどの葉物野菜のほか、ピーマンなど果菜類の栽培技術が学べます。



2 就農地・就農施設

就農地は既に確保済みで、野菜栽培に適した農地に整備します。

経営費で大きなウエイトを占めるビニールハウス等の就農施設は、台風や積雪でも安心なしっかりした規格のものをJAが行政から約1/2の補助（令和3年度実績1,560万円）を受けて整備リリースしますので、経営費が大幅に軽減されます。

3 研修修了後の支援

研修修了後も引き続き研修修了生を対象とした講習会等を定期的で開催するとともに、行政・JAの担当者による巡回指導を行い、経営の安定化を支援しますので、安心して農業に取り組みます。



●研修開始から新規就農までのスケジュール

1年8ヶ月間の基礎研修及び実地研修を経て、広島市内の農地で新規就農します。

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降
研修開始から 就農まで	基礎研修（1年間）	実地研修（8ヶ月間）	新規就農
就農地（確保済）	客土などの 農地整備	実地研修で使用 （センター管理）	研修修了生賃借（中間管理機構から転貸）
就農施設	ビニール ハウス建設	実地研修で使用 （センター管理）	研修修了生賃借（JAからリース契約）

●支援制度について

円滑な新規就農に向け、以下の交付金制度等が利用できます。

※利用条件等を別途定めていますので、詳細についてはお問い合わせください。

基礎研修期間

資金の交付

研修修了後に農業経営者として自立すること等を条件に、研修を後押しする年間最大150万円の資金の交付を受けることができます。【国の新規就農者育成総合対策事業「就農準備資金」を活用】

実地研修期間

収穫物の自由販売

実地研修中の収穫物は研修生の自由販売物としていますので、その売上金は研修期間中の経費や資金として活用できます。

新規就農後

資金の交付

新規就農後、農業経営が安定するまで最長3年間150万円/年の資金の交付を受けることができます。

【国の新規就農者育成総合対策事業「経営開始資金」を活用】

機械等の購入補助

新規就農後の経営発展のために必要となる機械・施設に対する補助（上限額あり）を受けることができます。

【国の新規就農者育成総合対策事業「経営発展支援事業」を活用】

●表紙のひと 岡崎 和也さん（31才）

元Jリーガーの岡崎さんは、“ひろしま活力農業”経営者育成研修（20期生）を経て平成30年に葉物野菜を中心とした野菜専作農家として広島市安芸区阿戸町に就農されました。

持ち前のチャレンジ精神を活かし経営品目の拡大に取組み、現在はコマツナやミズナなどの葉物野菜のほか、ミニトマトや白ネギなどを栽培し、直接飲食店などへも出荷されています。

また、地元小学校でのサッカー教室の指導や農業体験の受け入れなども積極的に行っており、地域の一員として活躍されています。



地元高校の農業体験で説明する岡崎さん

募集概要

(募集期間等の期日は予定で、変更する場合があります)

- 募集人数** 若干名(就農地:広島市)
- 募集期間** 令和4年11月15日(火)～12月15日(木)
- 1次選考** 令和4年12月(書類審査)
- 2次選考** 令和5年1月14日(土)(面接審査)
- 研修期間** 令和5年4月から1年間(基礎研修)、令和6年4月から8か月間(実地研修)
- 主な応募資格**
- ・年齢は18歳以上、原則就農時45歳未満であること
(昭和54年12月2日生まれから平成17年4月1日生まれまで)
 - ・研修修了後、広島市内のあっせんする農地に野菜専作(施設野菜)で就農すること
 - ・就農までに広島市に居住すること
 - ・就農後、就農地域と協調した関係を築き、地域活動に参加していく意思があること
- 研修費用** 無料(資格取得等の費用、実地研修での農機具費や雇用労賃等の自己負担有)
- その他** センターの見学や研修に関する相談は随時対応いたしますので、お気軽にお問合せください
体験会を令和4年12月17日(土)に開催しますのでご都合のつく方はご参加ください。

申込方法

提出書類

申込書1通

- ・申込書に必要事項を記入してください。
- ・申込書に写真を貼ってください。

(写真はタテ4cm×ヨコ3cm、最近3か月以内に撮影した正面向き、脱帽、上半身のもので、眼鏡を使用している人は、眼鏡をかけたもの)

- ・申込書は、選考審査の対象となりますので、事実を丁寧に、記入してください。

申込書の入手方法

本センター農業担い手育成課のほか、広島市役所(5階農政課)、区役所、出張所等に設置しています。
センターホームページ(<http://www.haff.city.hiroshima.jp/index.php>)からもダウンロード可能です。

提出先

〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
公益財団法人 広島市農林水産振興センター 農業担い手育成課



受付期間

令和4年11月15日(火)から令和4年12月15日(木) 必着

お問い合わせ先

(公財) 広島市農林水産振興センター 農業担い手育成課

〒739-1751
広島市安佐北区深川八丁目30番12号
TEL(082)842-4421
メールアドレス ninaite@haff.city.hiroshima.jp



広島市農業振興センター

検索

詳しくはWebで検索